

外国語科学習指導案

- 履修単位 4単位
- 実施日時 令和3年10月28日(木) 第3時限
- 学級 1年1組(38名)
- 使用教科書 LANDMARK English Communication 1(啓林館)
- 単元名 Lesson 6 Biodiesel Adventure
- 単元設定の理由

○題材観

本単元は、バイオディーゼル燃料で走るヴァスコファイブ号を取り上げ、環境問題解決のための啓発活動について説明している。ここで学習する背景知識や豊富な言語材料を用い、環境問題について今まで学んできたことをもとに、英語で自分の考えを表現することにつなげたい。また、過去完了形を用いて、これまで取り組まれてきた環境保全活動を時系列に並べることにより、物事についての説明を付け加え情報量を増やす力や、自分の考えを効果的に伝える表現を身につけさせることができると考える。さらに、生徒が重要性を感じやすいテーマであり、自分の意見を考えてまとめる力や、将来的なディベートの素養を身につけるのに適した題材である。

○指導観

当該クラスの生徒は、英語での意思疎通を図ることに苦手意識は無いが、正確な文法を用いて論理的な文章を作成することに課題がある。本単元は、本文の内容理解をもとに、自分の考えを相手に理解してもらいやすいように表現するのに適した内容となっている。そこで、「CAN-DOリスト」の「書くこと②」に関する指導と位置づけ、自分の考えを論理的にまとめ、表現するために必要な文章構成や表現方法に焦点を当てた指導を行う。英語を苦手とする生徒が意見を出せないような状況を避けるため、話し合いの前に工夫すべき点や効果的な表現を指導し、知識や言語材料を持たせる。グループ活動を通して、各自の考えが深まる言語活動を目指したい。

7. 単元の主な目標

- 環境問題に興味をもち、知識を身につけ、自分の意見を積極的に伝える。
- 本文の内容を要約するとともに、自分の意見を論理的に伝える文章構成を身につける。
「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標との関連→「書くこと②」
- つながりを示す語句に注意して文章を読み、論理がどのように展開しているか把握する。
- 過去完了形・使役動詞を用いた文の構造と意味を理解する。

8. 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
環境問題に興味をもち、知識を身につけ、自分の意見を積極的に伝えようとしている。	本文の内容を要約するとともに、自分の意見を論理的に伝える文章構成を身につけることができている。	つながりを示す語句に注意して文章を読み、論理がどのように展開しているか把握することができている。	①過去完了形を用いた文の構造と意味を理解している。 ②使役動詞を用いた文の構造と意味を理解している。

9. 指導と評価の計画

時間	ねらい	本課の評価規準	評価方法
1	本課で学習する文法項目について構造や意味を理解する。	エの①②	後日ペーパーテスト
2	Part1 を読み、内容を要約する。	イ・ウ	後日インタビューテスト
3	Part2 を読み、内容を要約する。	イ・ウ	後日インタビューテスト
④	環境を守る取り組みを考え、相手を納得させる文章を作る。	イ	ワークシート
5	Part3 を読み、内容を要約する。	イ・ウ	後日インタビューテスト
6	Part4 を読み、内容を要約する。	イ・ウ	後日インタビューテスト
7	環境問題について調べ、問題点を英語で発表する。	ア	活動の観察
8	本文全体の内容について Q&A を行う。	イ	後日ペーパーテスト
後日	〈ペーパーテスト〉 ◇過去完了形を用いた文の構造と意味についての理解をみる問題 ◇使役動詞を用いた文の構造と意味についての理解をみる問題 ◇つながりを表す語句の働きについての理解を見る問題	エの① エの② ウ	ペーパーテスト ペーパーテスト ペーパーテスト

○は本時

10. 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標（第1学年）

読むこと		聞くこと		書くこと		話すこと	
学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価
①説明文など、幅広い話題について、特に重要な事実等をとらえることを通じて、全体の要旨を理解することができる。	定期考査 授業中の活動	①教科書で学んだ内容について、ネイティブスピーカーが話すスピードで聞いておおよその内容を理解することができる。	定期考査 授業中の活動	①教科書で学んだ表現について、簡単な英文を正しく書くことができる。	定期考査 授業中の活動	①教科書の本文を、適切なイントネーションや区切りで、リピートすることができる。	スピーキングテスト 授業中の活動
②物語文などを読み、登場人物の言動やその理由等を文章に即してとらえることができる。		②ゆっくりであれば、英語で身近なことに関する話や興味関心のある話をおおよそ理解することができる。		②自己紹介や自分の趣味など、身近な話題について、簡単な英文を読み手に伝えるように書くことができる。		②自己紹介や自分の趣味など、身近な話題について、聞き手に伝わるように話すことができる。	
						③英語での簡単な質問に、Yes/No や具体的な語をあげて簡単に答えることができる。	

1 1. 本時（第4時）の指導過程

(1) 目標

環境を守る取り組みを考え、相手を納得させる文章を作る。

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価基準	評価方法
3分	1 ウォームアップをする。	・ 1 ミニツトークにより、英語の授業の雰囲気作りをする。		
5分	2 本 Lesson の Part1 の振り返りをする。	・ 電子黒板で画像を提示しながら Q&A を行い、前時までの授業内容について正確に把握させる。		
7分	3 環境問題について考える。	・ 環境問題について調べてきた情報をペアで共有させる。		
20分	4 環境問題解決のため、自分たちが取り組むべき身近なことをグループで文章にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境問題への取り組みである 3R をもとに、グループごとにテーマを与える。（グループ①は Reduce, グループ②は Reuse...等） ・ MetaMoJi Classroom へ記入させるため、机間指導を入念に行い、様子を観察する。 〈観察する際のポイント〉 ・ 指示された内容が書けているか。（取り組みとその理由、効果について） ・ 文法が正しいか。 	イ	ワークシート
10分	5 ジグソー法を用いて、他のグループのメンバーと、考えた取り組みを共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ MetaMoJi Classroom の共有フォルダにデータを入れさせることで、座席を移動せずに意見交換をさせる。 ・ 読後はデータ上に感想を書かせる。 		
5分	6 本時のまとめをし、次時の予告と挨拶をする。	・ 作品をいくつか紹介し、優れた表現を共有するとともに、振り返りの自己評価を行う。		

「十分満足できる」と判断される状況	話し合いを円滑に進められるよう他の意見をまとめ、正確な文法を用いて相手を納得させる論理的な文章を作成することができている。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	自分の意見を持ち、積極的にグループで共有するよう促す。指示された内容について書くことができるよう、机間指導を行いながら有効な英単語や表現を指導する。

